

視聴覚センター広報紙

# かわらばん

発行 島根県西部視聴覚障害者情報センター

〒697-0016 島根県浜田市野原町1826-1 いわみーる2階

電話 0855-24-9334 FAX 0855-24-9335

Eメール bd\_seibu@bd-iwami.org

ホームページ <https://www.bd-iwami.org>

Facebook @seibusichoukaku

令和3年度センター事業推進会議 開催

所長 小松 京子

今年も、梅雨末期の大雨のため、各地で大きな被害が発生しました。被災された皆様にお見舞い申し上げます。島根県内でもあちらこちらで「観測史上1位の雨量」を記録しましたが、近年、ニュース速報等で、「これまでに経験したことのない大雨」という言葉を頻繁に聞くようになりました。

災害は、いつ、どこで起こるか予測が付きません。避難所が開設されても、災害時要支援者の方が安心して避難できるような体制が整うよう、日頃から、様々な関係機関が情報共有し、連携を密にすることが重要だと考えています。また、私達自身も、人任せにするのではなく、気象情報に注意し、早めに行動するなど、自分や周囲の人の安全を確保するように努めることが大切だと思います。

さて、6月30日(水)に、当センターの事業推進会議を開催しました。今年は、県の障がい福祉課と西部地域各市町の障がい福祉担当課の皆さんにご出席いただきました。昨年度は、コロナ禍で中止せざるを得なかった事業もありましたが、事業報告や、本年度の事業計画等について説明したり、日常生活用具給付等事業について、センターから各市町へ意見・要望を伝えたり、用具の紹介もさせていただきます。

県からは、地域生活支援事業、意思疎通支援等の実施にあたり、新型コロナウイルス感染防止対策等新しい生活様式を踏まえた事業の推進や、遠隔手話通訳等普及のためのタブレット端末の整備状況について、情報提供がありました。障がい特性を踏まえた情報発信に努めることが重要であると、改めて感じました。7月1日から、聴覚や発話に困難がある方のための、手軽に使える公共インフラとして「電話リレーサービス」が始まりました。利用者の皆様にとって、社会参加の一助となることを、期待しています。市町で新しく担当になられた方もおられ、率直な情報交換、意見交換を行いました。この会議で、国の障がい福祉施策の動向、県の取組、各市町の視聴覚障がい者施策などについて情報共有することができました。皆様からいただいたご意見やご提案は、今後のセンターの運営や事業推進に生かしてまいります。

当センターでは、利用者やボランティアの方々の声にもお応えしたいと思っていますので、ぜひ、ご意見やご要望をお寄せください。

引き続き、皆様からのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**6月3日に浜田駅北側に「誘導用電子チャイム」が設置されました**

南側には以前からありましたが、今回、北側にも設置されました。

病院の行き帰り等、不安だった人も多いと思います。

「ピーン、ポーン」の音を、御活用いただければと思います。



## ～利用者様からの寄稿特集～ 今回は4人の方に原稿をお寄せいただきました

### 「電話リレーサービスを利用して」

益田市 中井 伸之

電話リレーサービスを利用する前までは、急ぎの用事があるときは家族に電話をお願いすることが多く、それ以外では市役所の福祉課やあゆみの里などに出かけて電話通訳をお願いするしかなく、とても不便でした。そのため電話での連絡は諦めることが多くありました。

電話リレーサービスの利用を始めてからは、自宅のパソコン、出先ではスマホやタブレットを使って公民館など公共施設の急な予定変更やキャンセル、病院受診の予約、宅配便の再配達依頼、銀行やクレジットカード会社への問い合わせ、子供の学校などに急ぎの用事も電話リレーサービスのおかげでリアルタイムに相手と連絡を取ることができるようになり、大変便利で助かっています。

7月1日からは公共インフラとしての電話リレーサービスが制度化され、新たにスタートしました。24時間365日利用でき、緊急時には警察(110番)や消防署(119番)へかけることが可能です。また、事前に電話番号を知らせておくことで、家族や友人から電話してもらうことや、子どもが学校で体調を崩した時も、学校の先生からすぐに連絡が取れるようになるなど、自分からだけでなく相手からも直接電話をかけてもらえるようになりさらに便利になりました。

ワンポイント解説!「電話リレーサービスって?」

聴覚障がいなどの理由で電話が困難な方が、オペレーターを通じて手話や文字で電話ができるサービスです。

### 「東京2020」～盲導犬と聖火リレーに参加して～

邑南町 岩谷 久美子

聖火リレーが延びて、今年に入り私は、ヴォイスと色んな所を歩きました。5月10日からは、時間をかけてゆっくりから速足になったりと練習をしました。そのうちに、子供たちが来て「おばさん。頑張ってるね」と言われ、とても嬉しかったです。

そして、当日が来ました。オリエンテーションでは、様々な人と挨拶しました。私は、何となく落ち着きませんでしたが、驚く事にヴォイスはとても落ち着いていました。その後、私の走る所へ連れて行ってもらうトーチが来るのを待ちました。前日に、訓練士から電話があり「岩谷さん。コマンドをきちんと使い、ヴォイスにはヒール・ストレートと言いながら、褒めてあげてください」との声を思い出しました。そこに、トーチを持った関係者が現れ「おばさん。決めた事をしましょう」と言い、トーチに火をもらい、手を高くして指を2本立てました。「ヴォイス。ヒール」と言ったり「ヴォイス。ストレート」と言いながら歩きました。「グットだね」と言い褒めました。ところが、ヴォイスは失敗も無くステージの上へ。トーチを点火台に近づけましたら、ポツという音で青く光り、すぐに赤色になりました。

私は、これからは色んな人と障害を取り払い、お互いに助けていく事などをスピーチしました。石橋町長も「邑南町は、どんな障害があっても皆様と助け合い、住みやすい街にしていきたい」とお話していました。

これは、言葉だけでなく実際に行なわれています。





## シリーズ・ブラインドサッカー 第1回 「ブラインドサッカーとの出会い」

浜田市 拝上 誠

私がブラインドサッカーと出会ったのは、音声パソコン習得のため、岡山県にある国立吉備高原職業リハビリテーションセンターに6か月間研修を受けに行った時のことです。ブラインドサッカーチームが岡山にあるのを SNS で知り、練習参加の申し込みをしました。練習参加するためにはバスで岡山駅まで1時間。岡山駅から倉敷まで30分。合間の移動を含めると片道約2時間かかりました。それでもサッカーがしたかったのであまり苦にはならなかったです。

岡山県のチーム「岡山デビルバスターズ」(桃太郎の鬼退治からこの名前がついています。)は元ブラインドサッカーの日本代表にかかわっていた代表を中心に事故で視覚に障害のある青年や軽度の知的障害のある青年など、様々な障害を受け入れており、健常者のサポート体制もしっかりしているチームです。初めての練習から、とてもフレンドリーに接してくれて、すぐに仲良くなりました。練習を重ねていく中で、日本選手権が開催されることを知りました。まだコロナも流行していないときで、2018年は東京で開催され、岡山チームとして出場させていただきました。結果は2戦2敗と残念な結果でした。そこでは、全国から集まってくる障がい者がとても元気で、アグレッシブだったのがとても印象的でした。

研修期間が終わり、一旦浜田に帰り、仕事に復帰しました。一年後の2019年6月、岡山チームから再びオファーがあり、日本選手権に出場しました。結果は2戦1敗1分けとまたしても勝利を収めることができませんでした。そこで感じたのは、勝ちたいという悔しさと、島根でチームを作りたいという思いでした。試合が終わり解散するとき岡山のメンバーの方から、「島根でチームを創れ!」と言われました。島根でチームを作るなんて自分には難しいのではないかとためらいを感じていました。図らずも、同じ時期に、日本ブラインドサッカー協会が主催する地域にチーム(リーダー)を増やすためのプロジェクトが開催されることを知り、岡山のメンバーの方の後押しもありプログラムに参加しました。

私はこのプロジェクトの参加をきっかけに、決意し島根にブラインドサッカーチームを作ることにしました。さまざまなご縁と、運も後押しした結果だと感じています。

せっかくいただいたチャンスだと思い、今も一生懸命にブラサカに取り組んでいます。

次号につづく...

### 「コロナ禍の中で活用しています!」

S.T

聴覚障害者にとって、相手のマスク姿は口元が見えないため、コミュニケーション上では大変致命的です。増して、このコロナ禍により「マスクを外してもらえますか」なんて恐れ多くて言えなくなりました。

とても困惑していたところ、定期的に届くセンターのかわらばんに「AmVoiceFrontWTO1 (Bluetooth 接続音声認識用マイク)」という機器紹介がありました。「これだ!」と早速センターに連絡相談し、試しにレンタルさせていただきました。職場や窓口受付などでは相手に負担をかけることなく大活躍でした。相手の滑舌により多少の誤変換があるけれど、似たような機器よりも

更に良いです。ただ、購入の際、自分が在住する自治体としては福祉機器としての申請対象となっていなかったため、タブレットも含めての購入で「懐か」とも痛かったです。便利ツールとして多方面で活用しています。



改めて、かわらばんでの機器紹介、感謝です。これからも便利な機器紹介をよろしくお願いします。

## 完成図書&製作中の図書

2021年4月~2021年6月

期間中に完成した図書と現在製作中の図書の一部をご紹介します。

※利用者の皆様方には、期間中の全ての新刊案内をお送りしていますのでご利用ください。

### <点字図書>

完成図書	製作中の図書
<ul style="list-style-type: none"> <li>・音速の刃 未須本 有生</li> <li>・裏仕掛け 御庭番の二代目 14 氷月葵</li> <li>・魔弾の王と戦姫 16 川口士</li> <li>・そのへんをどうように受け止めてらっしゃるか 能町みねこ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご道理ならず 奥小姓裏始末2 青田圭一</li> <li>・影灯籠 柳橋ものがたり5 森真沙子</li> <li>・魔弾の王と戦姫17 川口士</li> <li>・お隣の天使様にいつの間にか駄目人間に されていた件 4 佐伯さん</li> </ul>

### <デージー図書・カセットテープ図書>

完成図書	製作中の図書
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア六法 住田裕子</li> <li>・あきない世傳 金と銀10 合流篇 高田郁</li> <li>・脳科学捜査官 真田夏希 8 エキサイティング・シルバー 鳴神響一</li> <li>・病と障害と、傍らにあった本 齋藤陽道ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦しい時は電話して 坂口恭平</li> <li>・食べることと出すこと 頭木弘樹</li> <li>・シグナル 山田宗樹</li> <li>・偽装診療 医者探偵・宇賀神晃2 仙川環</li> <li>・鬼棲む国、出雲 古事記異聞 高田崇史</li> </ul>

### <テキストデージー図書>

完成図書	製作中の図書
<ul style="list-style-type: none"> <li>・わるじい慈剣帖6 おととつと 風野真知雄</li> <li>・累々 松井玲奈</li> <li>・ごんげん長屋つれづれ帖2 ゆく年に 金子成人</li> <li>・特等添乗員αの難事件 松岡圭祐</li> <li>・双生児 折原一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸彩り見立て帖 色にいでにけり 坂井希久子</li> <li>・初陣 鳥羽亮</li> <li>・お蝶と吉次 夜叉萬同心8 辻堂魁</li> <li>・焼き天ぷら 料理人季蔵捕物控 和田はつ子</li> </ul>

- 夏休み点字図書館探検 8月11日(水) 13時30分~15時30分※小学生対象
- (聴覚)セミナー&交流会 9月5日(日) 13時~15時 いわみーる体育室  
こうりゅうかい
- (視覚)利用者とボランティアのつどい 2022年3月13日(日)※予定
- 点訳勉強会(いわみーる 視聴覚研修室) 偶数月第1土曜日 13時30分~
- かわらばん発行 4月・7月・10月・1月